

# (公財) 国連大学協力会 2023 年度事業報告書

## FY2023 Operational Report

### The Japan Foundation for the United Nations University

#### 【基本方針】

#### 【Basic Guidelines】

公益財団法人国連大学協力会は、日本・東京に本部のある国際連合大学（以下「UNU」）の活動を支援することを目的としており、我が国国内における UNU の周知と、UNU 本部および同じく東京にある国連大学サステイナビリティ高等研究所（以下「UNU-IAS」）の教育・研究活動への支援を行っている。

UNU は、1975 年に創設され、国連大学憲章において「人類の存続、発展および福祉にかかわる緊急かつ世界的な問題の研究」を行うものとされている。それゆえに UNU は、国連及び関係機関に対し、革新的な政策の選択肢を支える客観的で偏りのないエビデンス（学術的根拠）に基づく「中立的なナレッジ・ブローカー（知識の仲介者）」としての役割を果たしている。

このことから、UNU の活動は、2015 年に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」と密接に連携し、17 の持続可能な開発目標（SDGs）のすべての範囲と一致し、それらを網羅している。UNU は、5 つの大陸に広がる 13 カ所の研究所とプログラムに、900 名以上の研究者とサポートスタッフを配し、学術的な根拠に基づく解決策を見出し、国連システムと国連加盟国が SDGs に掲げられているターゲットを実現するための現実的な政策を提言している。また、UNU は、若手の学者が知識の拡充、応用、普及に寄与する能力を高められるようにするため、専門的な教育を受ける機会を整備し、大学院学位プログラムを複数提供している。グローバルな学習は 1980 年代後半から UNU の研究の重点分野となっており、2005 年からは持続可能な開発のための教育（ESD）プロジェクトを通じて地域や地方の ESD イニシアチブをつなぐ学習ネットワークを促進している。

UNU-IAS は独自の教育コースやプログラムを幅広く提供している。分野横断的な問題に力を入れ、今後発生する問題や課題に効果的に対処するために必要な知識や技術を未来のリーダーが身に付けるサポートをし、UNU-IAS 大学院学位プログラム、専門分野における科目等履修プログラムやコースを実施し、さらに若手研究者が UNU の政策専門家と共に働きながら学べる機会も提供している。また UNU-IAS は、革新的な研究手法と多様なアプローチを駆使し、従来の考え方に挑むことで、地球規模で懸念される課題に対して独創的な解決策を生み出そうとしている。

2025 年に UNU が 50 周年をそして 本法人が 40 周年を迎えることから、本法人の 2023 年度の事業活動は、UNU の活動を広く周知することに努め、UNU 本部および UNU-IAS の教育・研究活動を支援し、本法人の公益事業のさらなる活性化を図った。

The Japan Foundation for the United Nations University (JF UNU) aims to support the activities of the United Nations University (UNU) with its headquarters in Tokyo, Japan. To fulfil this purpose, JF UNU has been disseminating UNU to Japan, supporting UNU Headquarters and supporting capacity development and research of the United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS) also in Tokyo, Japan.

UNU was established in 1975 by the United Nations (UN) and the UNU Charter mandates the University to devote its work to “research into the pressing global problems of human survival, development and welfare”. Therefore, UNU fulfils its role as a “neutral knowledge broker” that can provide an objective, impartial evidence base to support innovative policy options for the UN and related organizations.

For this reason, the UNU programmes align closely with the 2030 Agenda for Sustainable Development adopted by the UN in 2015 and generally encompass the full range of the 17 Sustainable Development Goals (SDGs). UNU has more than 900 researchers and support personnel, working in 13 institutes and programmes on five continents. UNU organises specialised training opportunities and offers several postgraduate degree programmes that enhance the capability of young scholars to contribute to the extension, application, and diffusion of knowledge. Global learning has been a focus area of UNU research since the late 1980s, and the Education for Sustainable Development (ESD) project has been fostering learning networks among regional and local ESD initiatives since 2005. They are developing solutions based on academic efforts and advocating realistic policies that will enable the UN system and the UN Member States to reach the targets encapsulated in the SDGs.

UNU-IAS offers a range of unique educational courses and programmes. These focus on cross-cutting issues and help equip the leaders of tomorrow with the knowledge and techniques that they will need to effectively address emerging problems and challenges. UNU-IAS awards postgraduate (master’s and doctoral) degrees; organizes specialized non-degree programmes, and courses; and provides opportunities through which young researchers can work alongside, and learn from, UNU policy experts. Additionally, UNU-IAS applies innovative approaches and research methods to challenge conventional thinking and develop creative solutions to emerging issues of global concern.

As UNU will celebrate its 50th anniversary and JF UNU will celebrate its 40th anniversary in 2025, JF UNU in 2023 strived to disseminate, continued to support UNU Headquarters and capacity development and research of UNU-IAS, and further revitalized our public benefit services.

## 【事業報告】【Operational Report】

### I. 国連大学の活動への理解と支援を高めるための広報・キャンペーン

#### [Outreach Campaign on UNU's Activities]

#### 1. 広報資料の作成 [Promotional Materials]

##### (1) ニュースレター（継続事業） [Newsletters] (On-going Mission)

UNU-IAS の大学院生の生活ぶりや本法人が大学院生を対象に主催したイベントへの参加の様子などを掲載した。

2023 年度発行：44 号・45 号・46 号

- ・jfUNU Newsletter44 号：6 月発行 600 部  
国連大学協力会冠奨学生の企業表敬訪問(来日挨拶)、JFUNU Activity Report 2022
- ・jfUNU Newsletter45 号：10 月発行 400 部  
JFUNU Study Tour(京大防災研研究所見学会)、歌舞伎鑑賞会
- ・jfUNU Newsletter46 号：11 月発行 400 部  
UNU-IAS 大学院プログラム学位授与式 2023、入学式 2023、  
国連大学協力会冠奨学生の企業表敬訪問(修了の御礼)

##### (2) 各種パンフレット（継続事業） [Brochures] (On-going Mission)

本法人の活動概要や UNU の活動概要を分かりやすく解説したパンフレットや募金趣意書を、賛助会員や企業関係者を中心として幅広く頒布した。

2023 年度発行：5 種

- ・「国連大学と国連大学協力会 2023」：4 月発行 1,500 部（本法人の活動内容）
- ・「国連大学・国連大学サステナビリティ高等研究所/大学院プログラム支援募金 募金趣意書」：  
3 月発行 2,000 部
- ・「国連大学見学ツアー」：7 月発行 200 部
- ・「身近な支援のご紹介（チャリボン、キモチと。、つながる募金）」：4 月発行 1,000 部
- ・「少額寄付者向けリーフレット」：12 月発行 50 部（寄付金控除のご紹介）

#### 2. インターネットによるキャンペーン [Campaigns through Internet]

##### (1) ウェブ活用による広報の拡充（継続事業） [Updating of Website] (On-going Mission)

タイムリーに情報を届けられるよう、ウェブサイトの更新を週 2~3 回程度行いさらに SNS も活用した。UNU の活動内容をより広範に紹介し、イベント情報の告知や記事の紹介を積極的に行い、国連大学協力会の活動についても多く発信した。

##### (2) メールマガジン（継続事業） [E-mail magazine] (On-going Mission)

賛助会員、UNU や国連大学協力会の情報を直接的に希望する人々、UNU Alumni Association（国連大学人材育成コースの修了生同窓会）のメンバーに、UNU および国連大学協力会の様々なイベント案内や記事の紹介を中心に、週 1 回配信した。

##### (3) 若年層への広報活動（継続事業） [Outreach to Young People] (On-going Mission)

近年、中学生・高等学校生・大学生の間で SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への関心が高まり、これら若年層の要望に応え、UNU School Visit（国連大学見学会）という形式の広報活動を実施した。2023 年度は、UNU 及び国際問題への理解と関心を高められるよう、UNU と協力し組み立てたプログラムに基づき、小学生から社会人まで幅広い年代を対象に 31 件実施した。

#### (4) ロータリークラブ等での広報活動（継続事業） [Outreach to the Rotary Clubs, etc.] (On-going Mission)

UNU の活動を幅広く広報するため、地域の各ロータリークラブ等での講演・卓話機会の獲得に努め、2023 年度は、5 月に東京赤坂ロータリークラブの合同例会で小宮山理事長が卓話の機会を得、本法人への協力を仰いだ。

### **II. 地球規模課題解決に関する知識普及のための講演会・セミナー・シンポジウム等**

**[Lectures, Seminars, and Symposiums to Disseminate Knowledge regarding Solutions for the Global Issues]**

#### **1. 講演会（継続事業） [Lectures] (On-going Mission)**

2023 年度は実施に至らなかった。

#### **2. セミナー・シンポジウム等（継続事業） [Seminars and Symposium, etc.] (On-going Mission)**

2023 年度は、12 月に UNU-IAS との共催による公開シンポジウム「持続可能な社会の構築における科学の役割を考える」を対面と Online（YouTube 配信）のハイブリットで実施し、参加者は約 230 名に達した。

### **III. 国連大学への助成活動 [Grants for the United Nations University]**

UNU への助成に当たっては、事前に UNU 関係者との連絡調整のもとに助成対象事業などを検討するとともに、具体的助成対象事業の選定・助成額配分などについては、本法人の「助成諮問委員会」の十分な審議を経て行った。（各事業への助成額は附属明細書を参照）

#### **1. 教育活動への助成 [Grants for UNU Capacity Development Programmes]**

##### **(1) 国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの大学院生奨学金助成（継続事業）**

**[Scholarship Grants for UNU-IAS Postgraduate Programmes] (On-going Mission)**

UNU の実施する大学院プログラムのうち、日本・東京にある UNU-IAS が実施する大学院プログラム（サステナビリティ学修士課程および同博士課程）の大学院学生に対し、生活費を中心とした奨学金を助成した。2023 年度は、修士課程学生 5 名、博士課程学生 6 名、合計 11 名に対し、学年歴の始まりである 2023 年 9 月に今後 1 年間分の奨学金を助成した。また、冠奨学生（\*）の修了時には支援者へお礼の表敬訪問を対面で、来日時には支援者へ来日挨拶を Online で行い、支援者とのつながりを密接に行った。

\*冠奨学生…jiScholarship 特別賛助会員の企業や個人が支援している学生で、奨学金名にその企業や個人名を冠している。

##### **(2) 国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの教育活動に対する助成（継続事業）**

**[Education Support Grants for Postgraduate Degree Programmes] (On-going Mission)**

UNU-IAS における大学院教育活動の充実を図るため、修士課程学生各学年 1 名ずつの授業料相当額を助成するもので、2023 年度は 2 名分を助成した。また、2023 年度からの授業料増額にともなう助成金増額の依頼に対しても速やかに応じ、2024 年度に増額分を助成することとした。

### **(3) 国連大学サステナビリティ高等研究所の実施する短期研修への助成（継続事業）**

#### **[Grants for Short-term Seminar by UNU-IAS] (On-going Mission)**

2023年度は、前倒して2022年12月に4日間のオンラインで開催された国連大学グローバル・セミナー [UNU Global Seminar] に助成した。このセミナーには、国内に在住する大学の学部生、大学院生、若手の社会人が多く参加し、現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取組みについて意識を高めることを目的に、講演やグループ討論を実施された。

### **2. 研究活動への助成（継続事業） [Grants for UNU Research Projects] (On-going Mission)**

UNU-IAS の行う研究活動に対し必要に応じて助成してきたが、2023年度は助成対象プログラムがなかったため、実施しなかった。

### **3. 国連大学の教育・研究環境整備のための助成（継続事業）**

#### **[Grants for Maintenance of UNU Educational and Research Environment] (On-going Mission)**

#### **(1) 国連大学本部における教育・研究のための施設整備費（継続事業）**

##### **[Maintenance of UNU Educational and Research Facilities] (On-going Mission)**

#### **(2) 国連大学図書館の蔵書購入費（継続事業）**

##### **[Purchasing Books for UNU Library] (On-going Mission)**

2023年度も UNU の教育・研究活動上の環境整備に対して助成した。

## **IV. 地球規模課題解決のための研究及び社会の取り組みについての調査・研究**

### **[Inquiry/Study related to Researches and Social Efforts to Settle the Global Issues]**

2023年度は、募金活動新規開拓に向けて、各企業におけるサステナビリティに関する取組みについて、資料・情報収集を行った。

## **V. 国際相互理解の促進等に関する事業 [Promotion of International and Mutual Understanding]**

### **1. 国際情報交流事業（継続事業） [Global Information Exchange] (On-going Mission)**

世界各国で活躍する修了生たちと賛助会員、日本人学生や学識者との国際情報交流の機会を講演会やシンポジウム等と連動して提供してきたところだが、2023年度は実施しなかった。

### **2. 日本文化体験事業（継続事業） [Japanese Culture Experience] (On-going Mission)**

世界各国から日本にやってくる UNU の大学院学生に日本文化や日本の社会についての理解を深めてもらうことを目的としており、iii・ivの事業については、公益財団法人森村豊明会からの助成金を活用して実施した。

i. 2023年06月23日 歌舞伎鑑賞会 Discover Kabuki

ii. 2023年07月04日 JFUNU Study Tour 京都大学防災研究所見学会

iii. 2023年11月13日 JFUNU Study Tour 島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 見学会

iv. 2023年12月09日 文楽鑑賞会 Discover Bunraku

v. 2023年12月12日 JFUNU Study Tour 三菱 UFJ 銀行見学会

なお、2022年度に引続き「JFUNU OPEN OFFICE」を1月に開催し、国連大学の大学院生がどのような分野に興味を持っているか、それぞれの意見を聴取し、上記の事業を進めていく上で参考とした。

## VI. 寄付金募金活動 [Fundraising Activities]

UNU は他の一般的な国連機関と異なり加盟国の分担金に基づく国連予算からの配分を全く受けていないことから、本法人は創設以来、継続的に UNU 支援のための募金活動を実施してきた。2023 年度は、2021 年に策定された募金活動計画に沿って、新規先を開拓するなど積極的な活動を展開した。

(寄付金収入額は附属明細書を参照)

### 1. 国連大学・国連大学サステナビリティ高等研究所/大学院プログラム支援募金活動 (継続事業)

#### [Fundraising Activities for UNU, UNU-IAS and UNU-IAS Postgraduate Programmes] (On-going Mission)

UNU 本部の諸活動及び UNU-IAS 大学院プログラム創設時より実施してきた大学院学生に対する奨学金と UNU-IAS 大学院プログラムが行う教育研究活動等への支援のための募金活動。UNU を支援するために国連大学協力会が行う事業活動への支援を含む。

#### (1) jfScholarship 賛助会員 (継続事業)

##### [Fundraising Activities for the Scholarship Grants for UNU-IAS Postgraduate Programmes] (On-going Mission)

UNU-IAS の大学院学生、特にアジア、アフリカ等開発途上国出身の学生に対する奨学金および大学院が行う教育活動への支援を得ることを目的としている。2023 年度は、現存法人会員 22 法人に継続を働きかけ、19 法人が会員を継続した。また新規開拓先としては、2022 年度に引続き経済団体連合会ご紹介企業 12 社に再度働きかけたが寄付には結びつかなかった。一方、ウェブサイトからの問い合わせにより、新たに 1 件の寄付を受け入れることができた。

#### (2) 一般賛助会員 (継続事業) [Donation from Supporting Members] (On-going Mission)

UNU 本部の活動、大学院教育活動及び国連大学協力会の事業活動に対して継続的・安定的な支援を得ることを目的とし、現存会員の継続と新規会員獲得のための様々なアプローチを行った。

#### (3) 一般寄付金 (継続事業) [General Donation] (On-going Mission)

UNU が実施する研究教育プロジェクト等への助成及び本法人の事業活動へ、任意の時期に任意の金額で支援を得る形の募金として、昨年度に続き、古本回収(チャリボン)や古物買取(キモチと。)、ポイントの寄付利用(つながる募金) といった多様な形態での募金活動にも注力した。特に各募金活動プラットフォームの寄付強化期間には、メールマガジンによる呼びかけを行った。

古本回収(チャリボン) 3月1日～31日、6月1日～30日、7月6日～31日、

9月20日～26日 12月1日～12月31日

古物買取(キモチと。) 7月15日～9月14日

## VII. 本法人の管理運営活動 [Management and Operational Activities of JFUNU]

本法人は、公益財団法人への移行後 13 年が経ち、諸活動は着実に実施され、UNU との円滑な協力体制の下、活性化している。また、理事会、評議員会及び監事会議の他、助成諮問委員会、資産運用委員会や募金推進委員会を適切に開催し、各会議による助言・指導のもと、執行理事の権限等の役割分担に基づいて、公益法人としての社会的責任を十分に果たしてきた。

2023 年度は、積極的な募金活動を行ったが寄付金収入額は減少に転じ、本法人のキャッシュアウトの継続による運用資産が減少したため特定資産運用益も減少し、財務運営は引き続き厳しい状況であった。

また、2025 年の UNU 50 周年 本法人 40 周年に向け、国連大学創設 50 周年記念支援活動検討委員会を設置し、国連大学の活動を支援するための募金活動など具体的支援策の検討に入った。

＜公益財団法人国連大学協力会 2023 年度事業報告 附属明細書＞

2023 年度 寄付金収入及び国連大学への助成実績一覧

＜FY2023 Operational Report Annex＞

寄 付 金 収 入 (Donations and Dues)		金 額
・ jfScholarship 賛助会員	個人会員 10 件 (¥ 1,640,000) 法人会員 20 件 (¥13,400,000)	15,141,000 円
・ 指定寄付	個人 2 件 (¥ 101,000)	
・ 一般賛助会費	個人会員 23 件 (¥ 215,000)	215,000 円
・ 一般寄付金	古本募金 9 件 (¥74,731) つながる募金 4 件 (¥ 1,500)	76,231 円
合計額 :		15,432,231 円

国 連 大 学 へ の 助 成 (Grants for UNU)		金 額
・ 国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの 大学院生奨学金助成 Scholarship Grants for the UNU-IAS Postgraduate Programmes		15,840,000 円
・ 国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの 教育活動に対する助成 Education Support Grants for UNU-IAS Postgraduate Degree Programmes		2,000,000 円
・ 国連大学グローバル・セミナーに対する助成 UNU Global Seminar in December 2022		600,000 円
・ 国連大学本部における教育研究のための施設整備費 Maintenance of UNU Centre Facilities		5,000,000 円
・ 国連大学図書館の蔵書購入費 UNU Library Book Procurement Grants		50,000 円
合計額 :		23,490,000 円